

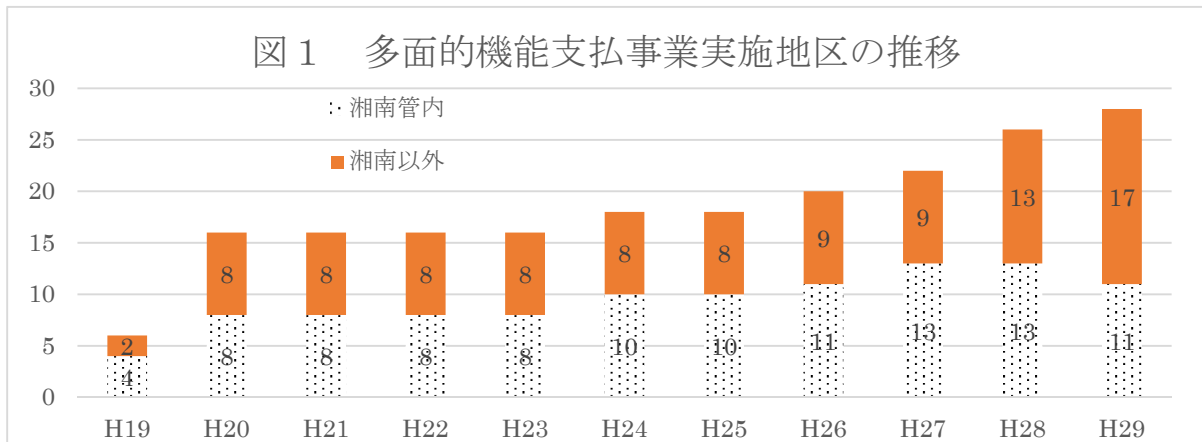
湘南地域の多面的機能支払事業の現状

【湘南支部】 湘南地域県政総合センター 農地課

1 はじめに

農業農村の有する多面的機能の維持発揮を図るため、地域の共同活動を支援し、農地や農業用水、農道などの地域資源の適切な保全管理を推進する多面的機能支払事業が、平成19年度に農地・水・環境保全向上対策として始まった第1期対策から数えて10年を経過した。

湘南地区では、平成19年度の平塚市豊田地区など4市4地区（県下5市6地区）から、現在（平成30年1月）5市11地区（県下28地区）まで拡大している。



2 各地区の取組

(1) 平塚市

市北中部の水田地帯において、農業者と自治会や小学校PTA等で組織する4つの活動組織が地区内の用排水路や農道の維持保全活動、地区の小中学校と連携した生き物調査などを行っている。（水田82.55ha、畑20.37ha、計102.92ha）



(2) 藤沢市

市内を流れる境川、引地川や目久尻川の流域4地区において、農業者と自治会、土地改良区などが連携し、地区内の農道や用排水路、パイプライン、ポンプ場などの維持保全活動、レンゲの播種による遊休農地の再生活動などを行っている。（水田77.16ha、畑48.12ha、計125.28ha）



(3) 茅ヶ崎市

市西部の萩園地区において、農業者による地区内の農道や用排水路の維持保全活動、地域住民との交流会などを行っている。（畑6.5ha）



(4) 秦野市

市東部の鶴巻地区において、農業者と自治会、JAなどが連携し、地区内の農道や用排水路などの維持保全活動、レンゲや菜の花の植栽や農道沿いに植えられたアジサイの管理などを行っている。(水田 20.17ha、畑 4.54ha、計 24.71ha)



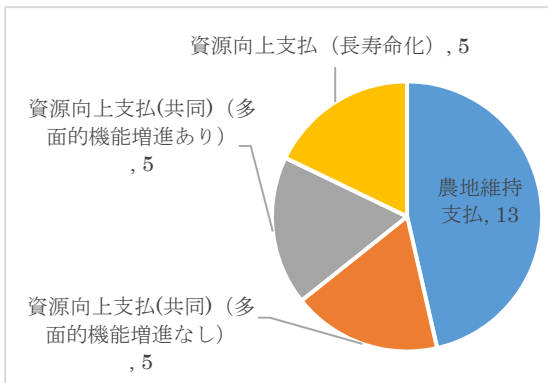
(5) 伊勢原市

市東部の大田地区において、農業者と自治会、JA、土地改良区などが連携し、地区内の農道やパイプラインやポンプ場などの維持保全活動、レンゲ等の植栽による交流活動や生き物調査などを行っている。(水田 59.84ha)

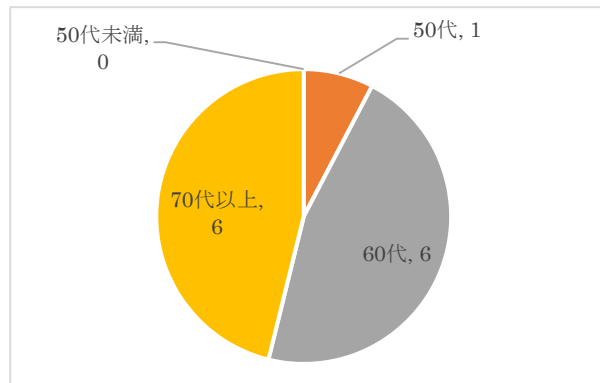


3 取組の効果等 (湘南管内 13 地区の活動組織アンケート)

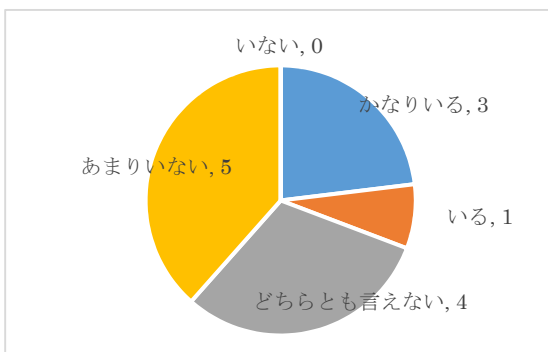
(1) 取り組んでいる活動



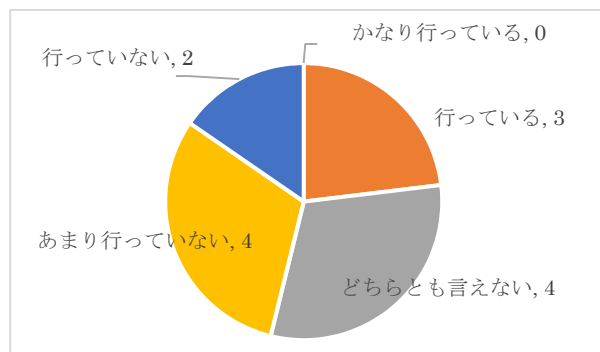
(2) 活動組織の代表者の年齢



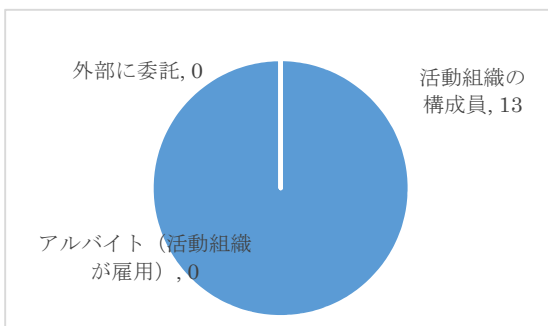
(3) 活動組織の代表者等の後継者



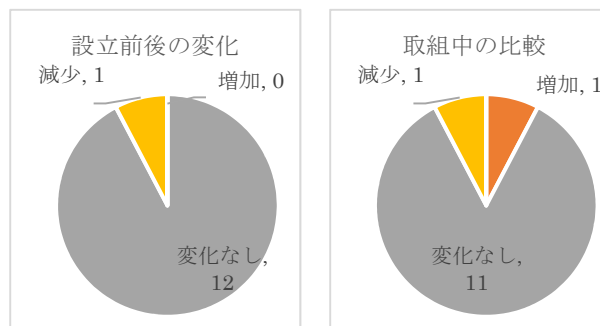
(4) 後継者となる人材を育成するような取組



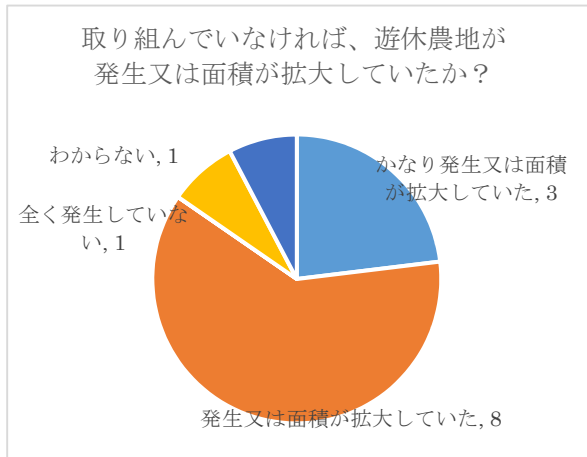
(5) 活動組織の事務



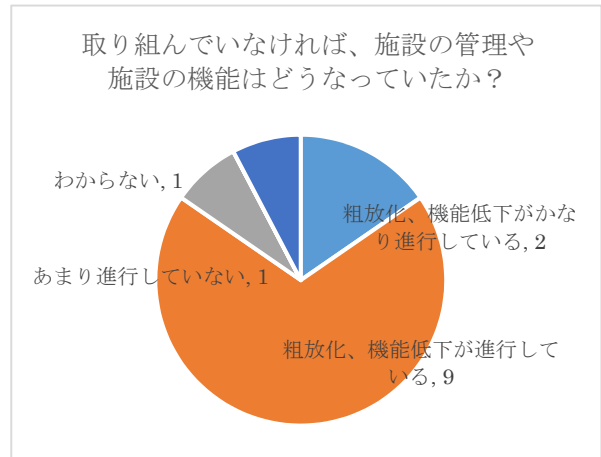
(6) 活動参加者数の変化(全体)



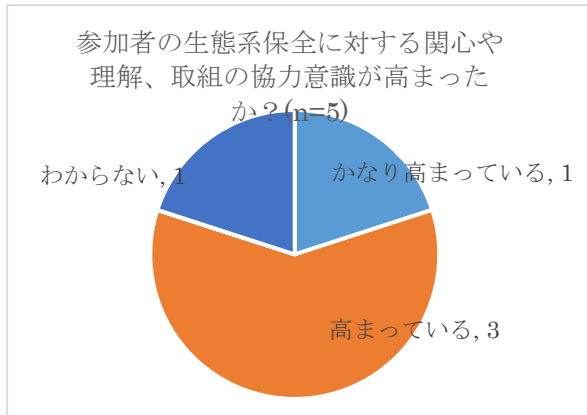
(7) 農地の保安全管理に関する効果



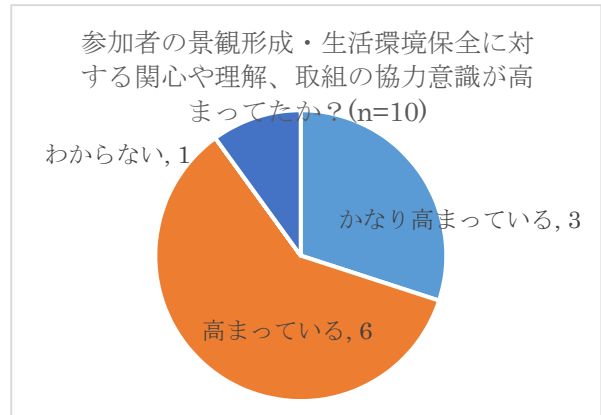
(8) 農業用施設の機能維持に関する効果



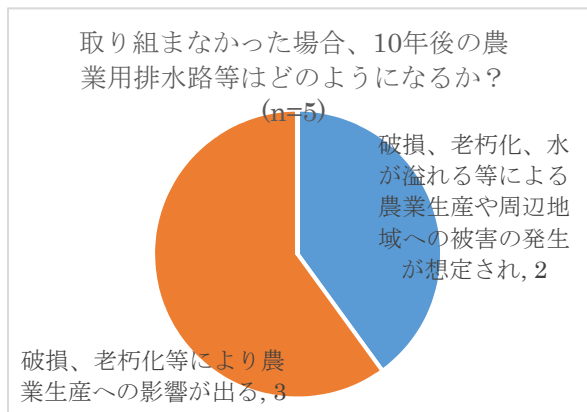
(9) 農村環境の保全・向上に関する効果



(10) 農村環境の保全・向上に関する効果



(11) 農業用施設の機能増進に関する効果



出典： 多面的機能支払交付金の中間年評価に係る活動組織のアンケート調査より抜粋(平成28年6月神奈川県)

4 おわりに

農村地域の高齢化、混住化等の進行に伴い、これまで地域農業者の共同活動により支えられてきた農業資源の保全が困難となりつつあり、担い手農家への負担増加も懸念されている。平成27年4月に「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」が施行され、多面的機能支払事業の恒常的な取組が可能となる中、更なる地区の拡大に向けて支援していく。